

播磨、中国・蘇州にランプ工場

中国・蘇州工場

株主の皆さまへ

第41期 事業報告書

平成15年 4月1日～平成16年3月31日

播磨事業所 新棟完成予想図

未来は「光」でおもしろくなる

USHIO

ウシオ電機株式会社

財務データ

	単位	第37期 (平成11年度)	第38期 (平成12年度)	第39期 (平成13年度)	第40期 (平成14年度)	第41期 (平成15年度)
連結売上高	百万円	73,109	89,137	81,301	91,937	99,081
連結営業利益	百万円	9,154	15,338	9,775	12,190	15,006
連結経常利益	百万円	11,674	16,501	10,028	11,958	16,524
連結当期純利益	百万円	6,525	8,464	1,643	4,651	9,346
連結株主資本	百万円	87,566	93,261	106,838	105,582	117,726
連結総資産	百万円	121,230	137,758	149,669	149,390	169,771
連結1株当たり株主資本	円	627.17	667.93	765.32	764.94	853.40
連結1株当たり当期純利益	円	46.73	60.62	11.77	33.14	67.36
単独売上高	百万円	42,057	52,541	42,801	45,875	50,906
単独営業利益	百万円	7,983	12,933	7,980	8,911	10,055
単独経常利益	百万円	9,602	14,779	9,275	9,565	11,767
単独当期純利益	百万円	5,452	7,615	2,468	3,545	7,494
単独資本金 (発行済株式総数)	株	(139,628,721)	(139,628,721)	(139,628,721)	(139,628,721)	(139,628,721)
単独株主資本	百万円	79,257	85,157	98,260	97,116	109,391
単独総資産	百万円	96,889	111,168	122,407	121,309	142,444
単独株主資本比率	%	81.8	76.6	80.3	80.1	76.8
単独1株当たり株主資本	円	567.63	609.89	703.87	703.65	793.06
単独1株当たり配当金	円	12.00	15.00	13.00	13.00	20.00
単独1株当たり当期純利益	円	39.05	54.54	17.68	25.25	54.05
単独配当性向	%	30.7	27.5	73.5	51.5	37.0
単独従業員数	人	1,286	1,295	1,346	1,378	1,371

(注) 1. 連結売上高および単独売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 第41期の単独1株当たり配当金には、創立40周年記念配当5円を含んでおります。

株主の皆さまへ



代表取締役社長 田中昭洋

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より格別のご支援ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第41期事業報告書をお届けするにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済を顧みますと、輸出を中心とした企業収益の改善や民間設備投資の増加に加え、株価回復などもあり、緩やかな景気回復への動きの中で推移いたしました。

一方、海外におきましては、米国経済は、企業収益の改善等を背景に総じて回復傾向を見せました。また欧州経済は、依然として停滞したものの、アジア経済については、韓国や台湾の急速な景気回復に加え、中国の持続的な景気拡大により総体的に回復基調の中

で推移いたしました。

このような環境下において、当ウシオグループは、中・長期事業を推進・展開するとともに、将来に向けた「光のソリューションビジネス」の創出あらゆる「光源」「光のシステム」の提供を図り、将来成長の期待できる「バイオ」「医療」分野への進出を目指して、大学や研究機関の連携強化提携先ベンチャー企業の発掘ベンチャー企業との資本・業務提携の模索に取り組んでまいりました。また、引き続き将来に向けた新技術・新製品開発への積極的な投資生産性の向上や製造コストの低減海外展開強化に向けた販売、生産体制の整備・拡充などを推し進め、業績の向上に注力してまいりました。これらの結果、当連結会計年度の業績は、過去最高の売上高、経常利益、当期純利益を計上することができました。

当期配当金は7円増配の20円に

前期は1株につき13円とさせていただきますが、当期は、過去最高の業績が計上できたことから2円増配し、また創立40周年記念配として、さらに5円を加え、20円の配当とさせていただきます。株主の皆さまの日頃のご支援に厚く感謝申し上げます。

営業のご報告

今後の見通しにつきましては、国内経済は、アジアおよび米国経済の回復を背景として、本格的な景気回復への期待が持たれるものの、一方では、円高の進行、雇用・所得環境の低迷など懸念材料もあり、引き続き厳しい環境下に推移するものと思われま

す。また海外におきましては、欧州・アジア各国とも、米国向け輸出の増加による景気回復・拡大に期待が持たれますが、米国経済自体の回復力には未だ底固さは見られず、経済情勢は依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

このような情勢下において、当ウシオグループは、主力事業を中心として、徹底した品質重視の下、製造コストの低減、海外生産移管、海外販売拠点を含めた販売体制の整備・効率化、ハイテク分野での光研究・光開発の推進など、生産・販売・開発のすべてにわたり諸施策を鋭意推し進め、グループ全体の更なる事業基盤の強化を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成16年6月吉日

事業の概況

光応用製品事業

管球関連製品におきましては、OA機器用ハロゲンランプおよび希ガス蛍光ランプ、舞台照明用・一般照明用各種ランプなどの需要減少はありましたが、データプロジェクター用高輝度放電ランプ、液晶基板洗浄用エキシマランプ、液晶露光用紫外線ランプ、内視鏡用クセノンランプなどの需要が増加いたしました。

光学装置関連製品におきましては、大型映像システム、精密部品接着用紫外線照射装置、液晶基板洗浄用エキシマ光照射装置およびプリント基板用精密露光装置等の需要が増加いたしました。

この結果、売上高は、対前期比8.0%増の953億9百万円となりました。また営業利益では対前期比21.8%増の147億9千8百万円を計上いたしました。

産業機械およびその他事業

緩やかな景気回復にともない設備投資も回復基調で推移する中、自動制御製品などの需要減少はありましたが、食品梱包機械装置などの需要が増加いたしました。

この結果、売上高は、対前期比1.8%増の38億9百万円となり、営業利益では2億7百万円を計上いたしました。

所在地別の概況

日本

OA機器用ハロゲンランプおよび希ガス蛍光ランプなどの需要が減少いたしました。データプロジェクター用高輝度放電ランプ、精密部品接着用紫外線照射装置、プリント基板用精密露光装置、液晶基板洗浄用エキシマ光照射装置およびエキシマランプ、液晶露光用紫外線ランプなどの需要が増加いたしました結果、売上高は、対前期比10.7%増の660億5千5百万円を計上いたしました。

アジア

データプロジェクター用高輝度放電ランプ、OA機器用ハロゲンランプ、液晶基板洗浄用エキシマ光照射装置およびエキシマランプ、液晶露光用紫外線ランプ、精密部品接着用紫外線照射装置などの需要が増加するとともに、プリント基板用精密露光装置なども堅調に推移いたしました結果、売上高は、対前期比17.6%増の178億7千2百万円を計上いたしました。

北米

映写機・光源・設備などのハードから、ネットワーク化・メンテナンス・関連サービスなどのソフトにいたるトータルサポート体制を強化することにより、大型映像システム装置などが堅調に推移いたしました結果、売上高は、対前期比3.0%増の262億1千4百万円を計上いたしました。

ヨーロッパ

シネマ映写機用クセノンランプなどの需要は堅調に推移いたしました。舞台照明用・一般照明用各種ランプなどの需要が減少いたしました結果、売上高は、対前期比11.0%減の58億4千8百万円を計上いたしました。

次期の見通し

第42期の業績見通し

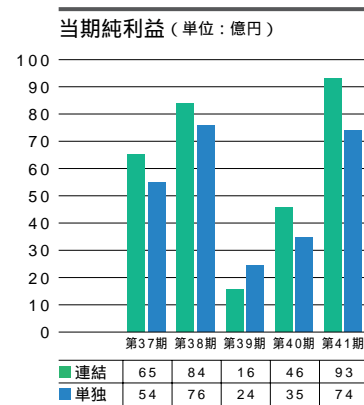
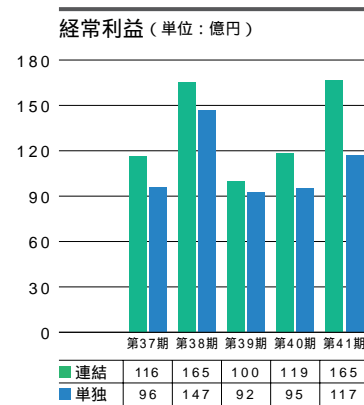
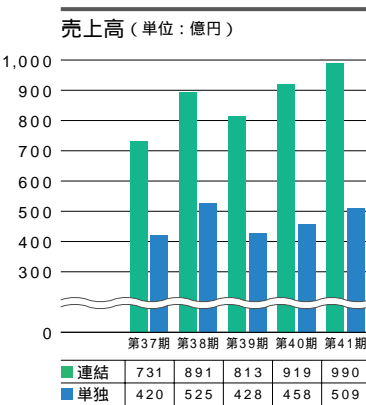
	見通し	前期比
売上高	1,150億円	(16.1%増)
経常利益	190億円	(15.0%増)
当期純利益	110億円	(17.7%増)

上記の業績見通しは今後の状況変化によって、数字が異なる場合があることをご承知願います。

連結売上高 990億8千1百万円 対前期比7.8%増
 単独売上高509億6百万円 対前期比11.0%増

売上高

ランプ製品におきましては、
 プロジェクター用高輝度放電ランプ
 液晶基板洗浄用エキシマランプ
 液晶回路露光用紫外線ランプ
 内視鏡用クセノンランプ
 光学装置関連製品におきましては、
 デジタル大型映像システム
 電子部品・光学部品の精密接着用紫外線照射装置
 液晶基板洗浄用エキシマ光照射装置
 プリント基板用精密露光装置
 など、それぞれ需要増加があり、過去最高の売上高を更新いたしました。
 単独売上高も、連結売上高と同様に推移いたしました。



連結当期純利益 93億4千6百万円 対前期比100.9%増
 単独当期純利益74億9千4百万円 対前期比111.4%増

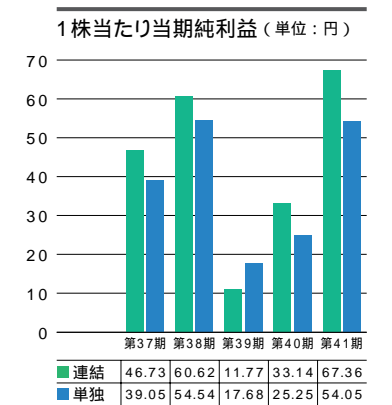
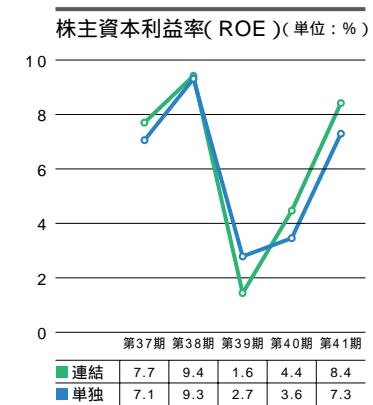
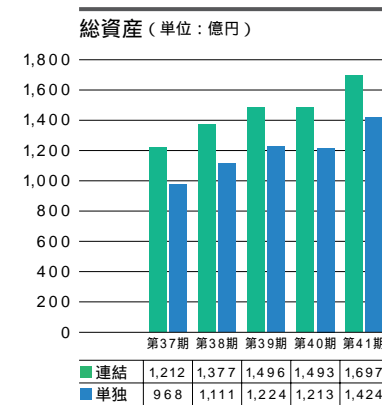
利益

売上の増加に伴い、
 営業利益:対前期比23.1%増の150億6百万円
 経常利益:対前期比38.2%増の165億2千4百万円
 当期純利益:対前期比100.9%増の93億4千6百万円
 (前期に比べ保有有価証券の評価損の計上がなかったことが寄与を計上いたしました。
 単独利益も、売上高増加により利益が増加し、
 営業利益:対前期比12.8%増の100億5千5百万円
 経常利益:対前期比23.0%増の117億6千7百万円
 当期純利益:対前期比111.4%増の74億9千4百万円
 を計上いたしました。

連結総資産 1,697億7千1百万円 対前期比13.6%増
 単独総資産 1,424億4千4百万円 対前期比17.4%増

総資産

売上債権の増加と株式市況の回復に基づく保有有価証券の評価益増加により、対前期比13.6%増の1,697億7千1百万円を計上いたしました。
 単独総資産も、連結同様に売上債権の増加と保有有価証券の評価益が増加した結果、対前期比17.4%増の1,424億4千4百万円を計上いたしました。
 なお、連結・単独とも税金相当分を控除した評価益を「資本の部」の「その他有価証券評価差額金」として、187億8百万円(連結)、186億8千4百万円(単独)をそれぞれ計上いたしております。



連結1株当たり当期純利益 67円36銭 対前期比34円22銭増
 単独1株当たり当期純利益54円5銭 対前期比28円80銭増

ROE / 1株当たり当期純利益

当期の業績は、過去最高の経常利益、当期純利益を更新することができました。
 ROEにつきましても、
 連結で前期比4.0ポイント増の8.4%
 単独で対前期比3.7ポイント増の7.3%
 を計上いたしました。

資産、負債、資本の状況

貸借対照表(要旨) <連結>

(単位:百万円)

科目	第41期	第40期	前期比増減	科目	第41期	第40期	前期比増減
	(平成16年 3月31日現在)	(平成15年 3月31日現在)			(平成16年 3月31日現在)	(平成15年 3月31日現在)	
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	(84,846)	(79,246)	(5,599)	流動負債	(36,537)	(29,714)	(6,823)
現金および預金	15,490	17,899	2,409	支払手形および買掛金	14,391	13,569	821
受取手形および売掛金	32,468	27,463	5,004	短期借入金	10,934	8,375	2,559
有価証券	13,111	11,107	2,004	その他	11,211	7,769	3,442
たな卸資産	16,650	15,319	1,330	固定負債	(14,700)	(13,343)	(1,356)
その他	7,124	7,456	331				
固定資産	(84,925)	(70,143)	(14,781)	長期借入金	886	3,924	3,038
有形固定資産	(24,455)	(23,142)	(1,313)	繰延税金負債	11,613	6,945	4,667
建物および構築物	8,119	8,310	191	その他	2,201	2,473	272
機械装置および運搬具	3,702	4,060	358	負債合計	51,238	43,058	8,180
土地	8,889	8,117	772	(少数株主持分)			
その他	3,744	2,653	1,091	少数株主持分	806	749	57
無形固定資産	(1,357)	(817)	(540)	(資本の部)			
投資その他の資産	(59,112)	(46,183)	(12,928)	資本金	19,556	19,556	—
投資有価証券	52,166	39,066	13,100	資本剰余金	28,118	28,118	—
その他	6,945	7,117	171	利益剰余金	56,394	48,897	7,497
				その他有価証券評価差額金	18,708	12,201	6,506
				為替換算調整勘定	2,924	1,190	1,734
				自己株式	2,126	2,000	125
				資本合計	117,726	105,582	12,143
資産合計	169,771	149,390	20,381	負債 少数株主持分 および資本合計	169,771	149,390	20,381

(注)1.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表(要旨) <単独>

(単位:百万円)

科目	第41期	第40期	前期比増減	科目	第41期	第40期	前期比増減
	(平成16年 3月31日現在)	(平成15年 3月31日現在)			(平成16年 3月31日現在)	(平成15年 3月31日現在)	
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	(51,973)	(47,401)	(4,572)	流動負債	(19,994)	(13,006)	(6,988)
現金および預金	6,432	9,400	2,968	支払手形および買掛金	9,954	8,057	1,897
受取手形および売掛金	23,491	18,798	4,693	1年以内返済予定長期借入金	2,580	—	2,580
有価証券	11,741	9,701	2,040	その他	7,460	4,948	2,511
たな卸資産	5,246	4,348	898	固定負債	(13,057)	(11,186)	(1,871)
その他	5,061	5,152	91	長期借入金	360	2,940	2,580
固定資産	(90,470)	(73,907)	(16,563)	繰延税金負債	11,227	6,532	4,694
有形固定資産	(12,902)	(12,723)	(179)	その他	1,470	1,714	243
建物および構築物	4,717	4,791	74	負債合計	33,052	24,192	8,860
機械装置および運搬具	2,025	2,451	426	(資本の部)			
土地	4,697	4,591	106	資本金	19,556	19,556	—
その他	1,461	888	573	資本剰余金	(28,118)	(28,118)	(—)
無形固定資産	(1,444)	(890)	(554)	資本準備金	28,118	28,118	—
投資その他の資産	(76,123)	(60,293)	(15,829)	利益剰余金	(45,158)	(39,497)	(5,660)
投資有価証券	62,921	49,532	13,389	利益準備金	2,638	2,638	—
その他	13,201	10,761	2,440	任意積立金	14,980	13,980	1,000
				当期末処分利益	27,540	22,879	4,660
				その他有価証券評価差額金	18,684	11,944	6,739
				自己株式	2,126	2,000	125
資産合計	142,444	121,309	21,135	資本合計	109,391	97,116	12,275
				負債および資本合計	142,444	121,309	21,135

(注)1.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益、剰余金の状況

損益計算書(要旨) <連結>

(単位:百万円)

科目	第41期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第40期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	前期比増減
売上高	99,081	91,937	7,144
売上原価	62,539	58,666	3,873
売上総利益	36,542	33,271	3,270
販売費および一般管理費	21,536	21,081	455
営業利益	15,006	12,190	2,815
営業外収益	2,920	1,871	1,049
営業外費用	1,401	2,103	701
経常利益	16,524	11,958	4,566
特別利益	694	53	640
特別損失	1,015	4,850	3,834
税金等調整前当期純利益	16,203	7,161	9,041
法人税等	6,783	2,436	4,346
少数株主利益	74	73	0
当期純利益	9,346	4,651	4,694

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要旨) <単独>

(単位:百万円)

売上高	50,906	45,875	5,030
売上原価	31,762	28,595	3,167
売上総利益	19,143	17,280	1,862
販売費および一般管理費	9,088	8,368	719
営業利益	10,055	8,911	1,143
営業外収益	2,462	1,726	735
営業外費用	750	1,073	322
経常利益	11,767	9,565	2,202
特別利益	691	9	682
特別損失	98	3,453	3,354
税引前当期純利益	12,360	6,121	6,239
法人税等	4,866	2,576	2,290
当期純利益	7,494	3,545	3,949
前期繰越利益	20,045	19,334	711
当期末処分利益	27,540	22,879	4,660

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分 <単独>

(単位:百万円)

当期末処分利益	27,540	22,879	4,660
利益処分額			
配当金	2,757	1,793	964
役員賞与金	40	40	-
(うち監査役賞与金)	(1)	(1)	(-)
任意積立金			
別途積立金	1,000	1,000	-
次期繰越利益	23,742	20,045	3,696

(注)1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。 2. 配当金は、自己株式を除いて算出しております。

財政の状況

財政状態

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ54億2千4百万円減少し、79億6千9百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益が162億3百万円(対前期比126.2%増)と大きく増加しましたが、商量増大に伴う売上債権およびたな卸資産の増加、また、法人税等の支払額が前連結会計年度の利益を反映し41億5千5百万円となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて29億6千7百万円支出が増加し、94億9千万円の支出となりました。この主な支出要因は、親会社を中心に有価証券を購入したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて25億2千4百万円支出が減少し、15億9千2百万円の支出となりました。当連結会計年度における主な支出要因は、配当金支払によるものであります。

以上の結果、現金および現金同等物の期末残高は、前連結会計年度に比べ38億7千5百万円減少し、208億9千5百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書(要旨) <連結>

(単位:百万円)

科目	第41期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第40期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	前期比増減
営業活動による キャッシュ・フロー	7,969	13,394	5,424
投資活動による キャッシュ・フロー	9,490	6,523	2,967
財務活動による キャッシュ・フロー	1,592	4,117	2,524
現金および 現金同等物に係る 換算差額	762	471	291
現金および 現金同等物の増加額 (又は減少額)	3,875	2,282	6,158
現金および 現金同等物の 期首残高	24,771	22,488	2,282
現金および 現金同等物の 期末残高	20,895	24,771	3,875

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ウシオ育英文化財団 設立10周年

奨学生一人ひとりの英知で 世界の未来に 素晴らしい社会を

1994年、ウシオ電機設立30周年を記念して設けられた「財団法人 ウシオ育英文化財団」は、今年で10周年を迎え、これまでに168名の奨学生を支援し、世に送り出してきました。

3月8日には、新たに24名の奨学生を送る卒業祝賀会と、10周年記念式典が執り行われました。



自信を持って一歩踏みだし 世界の発展に寄与していきたい

記念品贈呈式(卒業祝賀会)

理事長の牛尾(当社社長)から一人ひとり記念品を手渡された卒業生の皆さんは、笑顔で握手を交わし、「ありがとうございました!」と感謝の気持ちを表していました。「支援を無駄にすることなく、自分の研究成果で世界のモノ作りを支える人間になりたい」という頼もしい声や、「外国

語指導員として、日中の友好交流のために力を尽くしたい」と、二国の友好関係を心から願う中国留学生の声、「光化学の分野に一生をかけ、皆さんの目なり耳なりに自分の名が届くよう頑張りたい」という力強い声などが聞かれ、私たちに、未来への希望を与えてくれました。



卒業記念品授与

証明してほしい 人間の力の偉大さ

10周年記念式典

ご来賓として文部科学省から事務次官の御手洗康氏、高等教育局長の遠藤純一郎氏、学生課長の戸渡速志氏にご臨席いただき、財団役員、評議員の皆さんをはじめ、奨学生・同OB、ウシオ電機関係者とともに式典が開かれました。

理事長の牛尾は、「素晴らしい社会の



ご挨拶する理事長の牛尾

創造に必要なのは、“学生を育てることだ”という思いから、彼らの未来の可能性にかけて、この財団を設立し、支援をしています。今後一人でも多くの奨学生を支援し、地域も広げていきたいと思っています。そして、奨学生の皆さんに、人間の力の偉大さを証明してほしいと、心から願っています」と、



文部科学省の戸渡学生課長(右)とお話する財団事務局長の山口(中)、中国人奨学生

期待を込めて挨拶しました。

また、当社社長の田中も、「さまざまな場で活躍する奨学生の皆さんの話を耳にすると、ウシオとして、微力ながら援助できていることを誇りに思っています。同時に、文部科学省の力強いご指導や、大学諸先生方が優秀な学生を送り込んでくださったことに大変感謝しています。これからも社会に貢献できる人材が育っていくことを期待し、協力してまいります」と、挨拶しました。



文部科学省の御手洗事務次官(中)、同・遠藤高等教育局長(左)と理事長の牛尾



理事の合田先生(英国クランフィールド大学 日本センター代表、右)と、評議員の牛尾(当社取締役、ウシオライティング会長)

奨学生支援・研究助成の実績

年度	奨学生(高専・大学・大学院別)				奨学生(地域別)		研究助成	奨学金・助成金
	高専専攻科生	大学生	大学院生	(内 外国人)	東京	東京以外		
1994年	-	4名	5名	-	2名	7名	-	大学生 30,000円/月 大学院生 100,000円/月
1995年	-	9名	10名	-	3名	16名	-	
1996年	-	14名	10名	-	6名	18名	-	
1997年	-	20名	10名	(1名)	9名	20名	-	大学生 45,000円/月 大学院生 100,000円/月
1998年	-	19名	10名	-	4名	25名	-	
1999年	-	19名	10名	-	8名	21名	-	
2000年	-	19名	10名	-	7名	22名	-	高専専攻科生 45,000円/月 大学生 45,000円/月 大学院生 100,000円/月
2001年	-	19名	10名	-	8名	21名	-	
2002年	5名	18名	14名	(2名)	7名	40名	4件	研究助成金 500,000円/件
2003年	10名	20名	15名	(7名)	6名	39名	4件	

増産スペース、コラボレーション、快適な職場環境・・・

今後10年・20年を展望して 播磨に2つの新棟を着工



A棟(完成予想図)

ここ10年、環境問題や企業のコンプライアンス問題などをきっかけに、ISOをはじめ、食品業界のHACCP¹、医薬品業界のGMP²など、さまざまな規格が重視されるようになり、それにあわせて「工場」の基準、工程の見直しが進んできています。また、精密化が進む製品と旧態然の工場との「質」の乖離も大きな課

題となってきています。

「研究開発部門」においても、世界に先駆けた革新的な研究開発や、ユーザーとの共同開発などが求められ、今では、研究開発に力を入れなければ企業として勝ち残れないほど、その役割は重要視されています。

1:総合衛生管理製造過程 2:薬品生産品質管理規定



ガラス張りで見られる
コラボレーション・モール
(イメージ図)

カスタマーに対して

**研究開発エリア一部をオープンにし、デモンストレーション・スペースを充実。
共同開発のためのプレゼンテーション・ルーム、コラボレーション・モールの設置。**

従業員に対して

職場の安全でストレスのない快適性を求め、福利厚生機能を充実。



B棟(完成予想図)



キャッシュレスの他、スクリーン設置で、各種
行事や集会などにも対応できる多目的食堂
(イメージ図)



オフィスは、拡張や組織変更も考慮に入れ、
レイアウト変更しやすい空間に
(イメージ図)

ウシオでは、「工場」に求められる新たな変化や機能を捉え、今後10年・20年を展望した『播磨リニューアル計画』を策定し、この春、播磨事業所で、新工場の建設をスタートさせました。

『播磨リニューアル計画』に、4つの基本設計コンセプト、5つのキーワードが設定され、これらの具現化を目指す今回の建設は、技術研究部門・来客実験室・食堂などからなる「A棟」、増産のための製造スペース「B棟」の2つの建物で、年内完成の予定で工事を進めています。

播磨リニューアル計画

基本設計コンセプト

生産能力の抜本的な増強
研究開発機能・ランプカンパニー本社機能の強化
得意先・取引先・地域社会との協調活動の促進
福利厚生機能の充実

キーワード

Collaboration (コラボレーション)	ゲスト・スタッフと綿密な意思疎通が図れる 充実したスペースづくり
Security (セキュリティ)	ゲスト・スタッフ・VIPなどの必要に応じた セキュリティレベルの設定
Flexibility (フレキシビリティ)	将来の建物拡張や組織変更にも柔軟に 対応可能な空間づくり
Cost Conscious (コストコンシャス)	絶対コストを意識したプランニング
Grand Design (グランドデザイン)	企業イメージ・景観などを念頭においた 建築デザイン

中国有数の工業都市「蘇州」に ランプ工場を新設

中国『蘇州』は国際都市上海に隣接し、人口591万人、GDPが上海、広州、北京に次いで第4位の中国有数の工業都市。目覚ましい経済発展を遂げながら、2003年には、外資進出企業数で上海を抜き、中国第1位となりました。

この蘇州に、ウシオはこの4月、OA機器用希ガス蛍光ランプやプロジェクター用高輝度放電ランプの生産を目的とした独资法人「牛尾電機(蘇州)有限公司」を設立いたしました。

敷地面積は播磨事業所(姫路市)の1/2の約2万m²。今年中に量産体制をつくり上げ、2005年度には、OA機器用ランプで月産20万本、プロジェクター用ランプで月産3万本程度の生産を予定し、将来の増産にも対応可能なスペースを確保しています。



蘇州工場 <牛尾電機(蘇州)有限公司>

牛尾電機(蘇州)有限公司	
企業名称	牛尾電機(蘇州)有限公司
所在地	中国江蘇省蘇州市新区漁洋街
代表者	董事長兼總經理 広江 勉 (兼 USHIO HONG KONG LTD.社長)
資本金	US\$3,500,000
敷地面積	約20,000m ²
建物	RC1階建
総床面積	2,300m ²
人員	約200名



原稿照明用希ガス蛍光ランプ



データプロジェクター用高輝度放電ランプ

トップメーカーにふさわしく いち早く「華東」に進出

ウシオの強みは
ユーザー密着のビジネス

ウシオは、ジアゾ複写機の時代(創業期)から、OA機器メーカー各社の個別ニーズに対応したランプの開発・生産体制を敷き、この分野では、常に世界トップシェア(現在 約60%)を維持してきました。また、急伸するプロジェクターに内蔵されるランプにおいても、OA機器と同様、ユーザーと密着した体制で、トップシェアを築き上げました。

華南から華東へ
ユーザーの生産シフトに即応

近年、機器メーカーの生産地は中国にシフト(世界の50~60%)しており、中でも華南地区がその中心でした。しかし、最近では、華南から上海・蘇州などを含む華東地区に分散する傾向が強まり始め、ウシオは、この流れに即応するため、昨年春に稼働させた番禺工場(広東省広州市)に加え、新たに蘇州での工場設立を決めたものです。これにより、同地区の全需要がカバー可能で、同一地区生産によるスピーディな供給体制が整うこととなりました。



番禺工場 <広州市番禺旧水坑牛尾電機廠>

安定供給を図る
3拠点体制

華東地区での新工場設立は、ランプメーカーはもちろん、部品メーカーとしても、いち早い進出となります。

また、これによってOA機器およびプロジェクター分野におけるウシオグループの生産拠点は、

OA機器用ランプ:
中国2工場(番禺、蘇州)
フィリピン工場(USHIO PHILIPPINS, INC.)

プロジェクター用ランプ:
中国2工場(番禺、蘇州)
播磨事業所
の各々3拠点となり、「供給能力」「納期対応力」「リスク対応力」などの面で、ユーザーから、より一層信頼される生産体制が実現することとなります。

ウシオユーテックとウシオライティングが一つに

照明・映像分野で USHIOは新しいステージへ

株式会社ウシオユーテック(以下 ユーテック)とウシオライティング株式会社(以下 ライティング)は、1月22日、両社合併の契約を取り交わし、2月10日の株主総会の承認を得て、この4月1日より、新会社としてスタートいたしました。

この新会社は、ユーテックが存続会社となり、社名は『ウシオライティング株式会社』を継承しています。

市場の多様化・スピード化に対応 未来型事業体制を再構築

ユーテックは照明のシステムノウハウを核に、また、ライティングは照明用光源の開発・製造を核に、それぞれ照明・映像市場で、長年にわたり独自の高級商品数を多く育ててきました。

今回の合併は、グループ経営の効率促進とともに、技術開発力・市場開拓力の集約によって経営資源の一本化を図り、

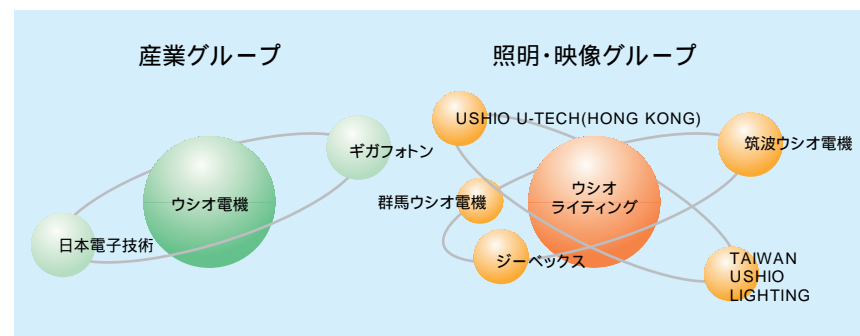
多様化・スピード化する市場変化に対応していくためのものです。光源から光のシステムまでの一貫した商品、きめ細かなサービスを提供する未来型事業体制を再構築いたしました。

群馬ウシオ、筑波ウシオを結集 照明・映像事業の専門集団が誕生

この合併を視野に、新生『ウシオライティング』の新たな開発・製造部隊として重

要な役割を担っていくために、昨年12月、群馬ウシオ電機と筑波ウシオ電機は、ウシオ電機からライティングの系列に組み変わりました。

これによって、国内のUSHIOグループは、ウシオ電機を中心にした『産業グループ』と、ライティングを中心にした『照明・映像グループ』の2つのグループに大別され、今後のUSHIOグループの光ビジネスに、大きな可能性の道筋がつかえました。



商号	ウシオライティング株式会社 (英文名:USHIO LIGHTING, INC.)
所在地	福岡本社 兵庫県神崎郡福崎町西治860-22 東京本社 東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町ビル 支店・営業所 大阪、名古屋、福岡 工場 兵庫県神崎郡福崎町(本社工場) 兵庫県六栗郡山崎町(山崎工場) テクニカルセンター 茨城県つくば市
代表者	代表取締役会長 牛尾 志朗 代表取締役社長 丸井 清治
資本金	1,017百万円(ウシオ電機出資比率:89.9%)
決算期	3月

この1年、1,000円台から2,000円台に

当社株が躍進

当社のこの一年間の株価を見てみると、昨年4月時点では1,000円台でしたが、その後、株式市場の活発化やデジタル家電需要の拡大に呼応して、順調に上昇し、今年4月には年初来の高値2,180円を記録いたしました。今期(第42期)についても、当社は、連結売上高で16.1%増の1,150億円、同当期純利益で17.7%増の110億円の計画を策定しており、これらの達成に向けて、全グループをあげて取り組んでおります。

高レーティングへ

証券各社が高い評価

当社をカバーしている証券会社各社は、ともに、当社を高く評価しており、ここ半年間で、高レーティングの付与をする会社が増加してきています。

当社の格付けは

A+(シングルAプラス)

この4月9日、(株)格付投資情報センター(R&I)による格付委員会が開催され、当社の予備格付けを、引き続いて「A+」と決定しました。

その理由として、

半導体・液晶製造分野向けランプ、OA機器分野向けランプ、これらの光源を組み込んだ光学装置で、強い競争力を持つ。

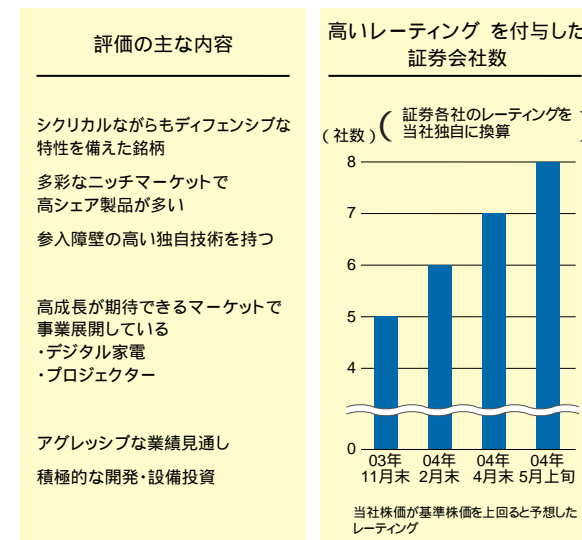
ランプの需要は新規だけでなく、取替え(リプレース)需要が稼働台数と操業度に比例して発生する。

そのため、デバイスメーカーの設備投資の動向で、収益が大きく振れるリスクが小さい。

財務構成も良好な水準にある。

と分析しています。

A+:債務履行の確実性は高く、部分的に優れた要素がある。



評価の主な内容

- シクリカルながらもディフェンシブな特性を備えた銘柄
- 多彩なニッチマーケットで高級品が多い
- 参入障壁の高い独自技術を持つ
- 高成長が期待できるマーケットで事業展開している
- デジタル家電・プロジェクター
- アグレッシブな業績見通し
- 積極的な開発・設備投資

国内・海外ネットワーク

「光」のネットワークで、世界の「光」マーケットへ

「光」マーケットの拡大と成長とともに、ウシオでは、それぞれの求められる国や地域に、専門のプロフェッショナル集団を設ける事業分担化を進めています。

高品質な「光」製品とサービスの提供を第一に掲げるウシオグループは、相互の連携・連帯を深めながら、世界の産業に欠くことのできない『光創造企業集団』を目指しています。

国内主力グループ会社(7社)

ウシオライティング株式会社

営業品目 ハロゲンランプ、ハロゲンヒーターランプ、メタルハライドランプ、クセノンフラッシュランプ、映像・画像システム、照明システム、FAシステム、食品・包装システム等

福岡本社・工場
〒679-2215
兵庫県神崎郡福崎町西治860-22
TEL.0790(22)6371(代) FAX.0790(22)6502

東京本社
〒102-0075
東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町ビル
TEL.03(3288)8411(代) FAX.03(3288)8400

大阪支店
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-13-9
新大阪Mビル1号館
TEL.06(6886)2622(代) FAX.06(6886)0660

名古屋支店
〒461-0002
名古屋市東区代官町39-17 鹿島貿易ビル
TEL.052(936)1255(代) FAX.052(936)1256

福岡営業所
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-8-12 博多駅南MTビル
TEL.092(411)5945(代) FAX.092(411)5996

山崎工場
〒671-2517
兵庫県六粟郡山崎町生谷159-1
TEL.0790(64)4832(代) FAX.0790(64)4831

つくばテクニカルセンター
〒300-2635
茨城県つくば市東光台5-2-4
TEL.029(847)7421(代) FAX.029(847)8475

ギガフオン株式会社

営業品目 半導体リソグラフィ用エキシマレーザー
〒323-8558
栃木県小山市横倉新田400
TEL.0285(28)8411(代) FAX.0285(28)8439

平塚事業所
〒254-8567
神奈川県平塚市万田1200
TEL.0463(35)9235(代) FAX.0463(35)9340

東日本カスタマーサポートセンター
〒323-8558
栃木県小山市横倉新田400(小山事業所内)
TEL.0285(28)8424(代) FAX.0285(28)8439

西日本カスタマーサポートセンター
〒561-0857
大阪府豊中市服部寿町5-133
(コマツエレクトロニクス事業本部豊中工場内)
TEL.06(6865)0089(代) FAX.06(6865)0111

西日本カスタマーサポートセンター
福岡事務所
〒812-0053
福岡県福岡市東区東箱崎6-18-7
(コマツ中国九州支社内)
TEL.092(642)1311(代) FAX.092(641)5211

株式会社ジーベックス

営業品目 映写システム、音響・映像システム等

本社
〒102-0075
東京都千代田区三番町3-8 泉館三番町ビル
TEL.03(3234)9100(代) FAX.03(3234)9700

大阪支店
〒542-0063
大阪市中央区東平2-3-9 RSビル上六
TEL.06(6764)7476(代) FAX.06(6764)7478

群馬ウシオ電機株式会社

営業品目 事務用機器、医療機器、健康産業機器等
〒374-8521
群馬県館林市近藤町262
TEL.0276(73)4611(代) FAX.0276(74)7471

株式会社ウシオスペース

営業品目 照明器具、光学機器、音響機器、照明空間設計等

本社
〒124-0006
東京都葛飾区堀切1-20-19
TEL.03(5672)7711(代) FAX.03(5672)7734

東京支店
〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南1-20-6
第21荒井ビル
TEL.03(5768)3681(代) FAX.03(5768)3690

大阪支店
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-6-9
新大阪第一ビル
TEL.06(6305)3501(代) FAX.06(6305)5940

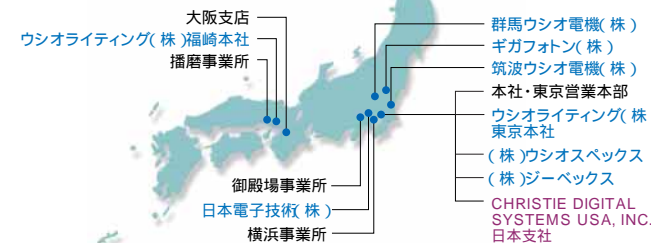
福岡営業所
〒810-0073
福岡市中央区舞鶴2-4-13
九州DKビル
TEL.092(732)0581(代) FAX.092(732)0580

筑波ウシオ電機株式会社

営業品目 クセノンフラッシュランプ等
〒300-2635
茨城県つくば市東光台5-2-1
TEL.029(847)5111(代) FAX.029(847)5051

日本電子技術株式会社

営業品目 制御回路設計・製造
〒229-0021
神奈川県相模原市高根2-2-27
TEL.042(756)9400(代) FAX.042(758)6847



海外販売現地法人(11社)

NORTH AMERICA

USHIO AMERICA, INC.

営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、メタルハライドランプ等

5440 Cerritos Avenue, Cypress, CA 90630, U.S.A.
TEL.(714)236-8600 FAX.(714)229-3180

EASTERN Division Branch Office
16-00 Route 208 South Fair Lawn, NJ 07410, U.S.A.
TEL.(201)703-3921 FAX.(201)703-3924

SOUTHWESTERN Regional Office
6839 North Trailway Circle, Parker, CO 80134, U.S.A.
TEL.(303)805-8535 FAX.(800)776-3641

CENTRAL Regional Office
14795 West 101st Avenue, Suite B, Dyer, IN 46311, U.S.A.
TEL.(708)849-4200 FAX.(708)849-4269

SOUTHEASTERN Regional Office
3530 Ashford Dunwoody Road Suite 211 Atlanta, GA 30319, U.S.A.
TEL.(404)252-2600 FAX.(404)256-1333

Oregon Operations Division
2050 East Mountainview Drive, Newberg, OR 97132, U.S.A.
TEL.(503)538-6515 FAX.(503)538-8450

Irvine Factory
14 Mason Avenue, Irvine, CA 92618
TEL.(949)472-1020 FAX.(949)472-0159

USHIO CANADA, INC.
営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、メタルハライドランプ等

2730 Brighton Road, Oakville, Ontario, L6H 5T4, Canada
TEL.(905)829-3338 FAX.(905)829-5343

ASIA

CHRISTIE DIGITAL SYSTEMS USA, INC.

営業品目 劇場用映写機及び関連機材

10550 Camden Drive, Cypress, CA 90630, U.S.A.
TEL.(714)236-8610 FAX.(714)503-3385

ASIA Office
102F Pasir Panjang Rd.
#07-07 Citilink Warehouse Complex, Singapore 118530
TEL.(65)270-4188 FAX.(65)270-4388

Japan branch
2TH Floor, Ariake-Frontier A Bldg, 3-1-25, Ariake, koto-ku, Tokyo 135-0063
TEL.(03)3599-7481 FAX.(03)3599-7482

EUROPE

USHIO EUROPE B.V.

営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、クセノンショートアークランプ等

Sky Park, Breguetlaan 16-18, 1438BC Oude Meer, The Netherlands
TEL.(0)20-446-9333(代) FAX.(0)20-446-0360

USHIO FRANCE S.A.R.L.
営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、クセノンショートアークランプ等

Z.I. du Vert Galant-Allée St Simon B.P. 7043-St Ouen L'Aumone 95051 Cergy Pontoise Cedex, France
TEL.(0)134-64-94-94(代) FAX.(0)134-64-44-97

ASIA

USHIO SINGAPORE PTE LTD.

営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、クセノンショートアークランプ等

No.1, Jalan Kilang #05-01, 102F Pasir Panjang Rd., Singapore 159402
TEL.6274-5311 FAX.6274-5300

USHIO TAIWAN, INC.
営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、クセノンショートアークランプ等

10TH Floor, Chung-Shiaw Bilding, No.31, SEC.1, Chung-Shiaw E.RD., Taipei, Taiwan, R.O.C.
TEL.(2)2322-4103 FAX.(2)2394-4140

USHIO KOREA, INC.
営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、クセノンショートアークランプ等

14F Dukheung Bldg., 1328-10, Seocho-dong, Seocho-ku, Seoul, Korea
TEL.(2)587-1115(代) FAX.(2)587-1118

EUROPE

BLV LICHT-UND VAKUUMTECHNIK GmbH

営業品目 ハロゲンランプ、メタルハライドランプ等

Mühchner Straße 10, 85643 Steinhöring, Germany
TEL.(0)8094 906-0 FAX.(0)8094 906-111

USHIO SHANGHAI CO., LTD.
営業品目 ハロゲンランプ、紫外線ランプ、クセノンショートアークランプ等

14TH Floor, HSBC Tower, 101 Yincheng East Road, Pudong New Area, Shanghai, P.R.C.
TEL.21-6841-1135 FAX.21-6841-1150

ASIA

USHIO PHILIPPINES, INC.

営業品目 照明用,OA機器用ハロゲンランプ等

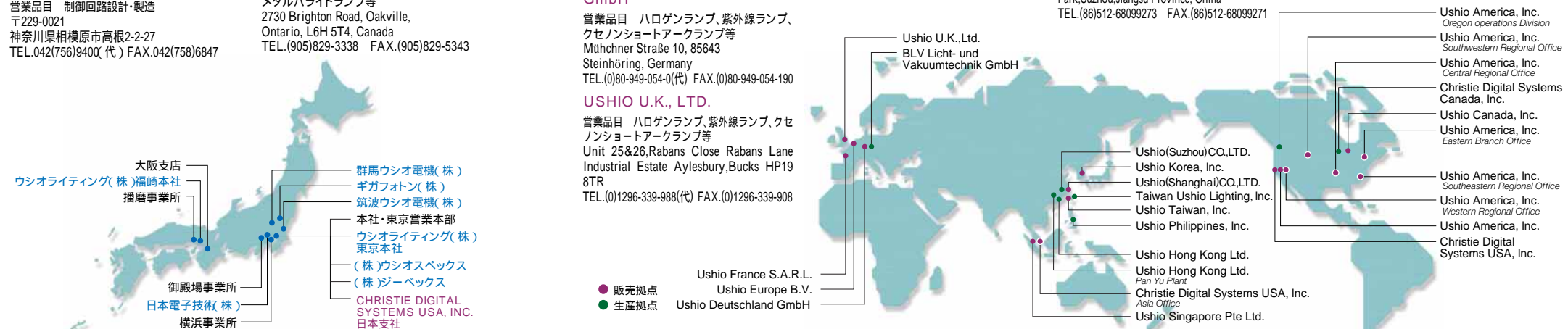
First Cavite Industrial Estate, Barangay Langkaan, Dasmariñas, Cavite, Philippines
TEL.(046)402-1422 FAX.(046)402-1421

USHIO HONG KONG LTD.
営業品目 OA機器用ハロゲンランプ、希ガス蛍光ランプ及びユニット等

Suites 2209-11, 22/F, Tower 6, The Gateway, 9 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong S.A.R.
TEL.2756-7880 FAX.2798-9861

Yuen Long Plant
29-31, Wang Lok Street, Yuen Long Industrial Estate, Yuen Long, New Territories, Hong Kong S.A.R.
TEL.2478-0090 FAX.2476-6701

Pan Yu Plant
Ushio Factory, Jiu Shui Keng, Shi Ji Town, Pan Yu District, Guang Zhou City, Guang Dong Province 51145 P.R.C
TEL.(20)3456-9158 FAX.(20)3456-8626



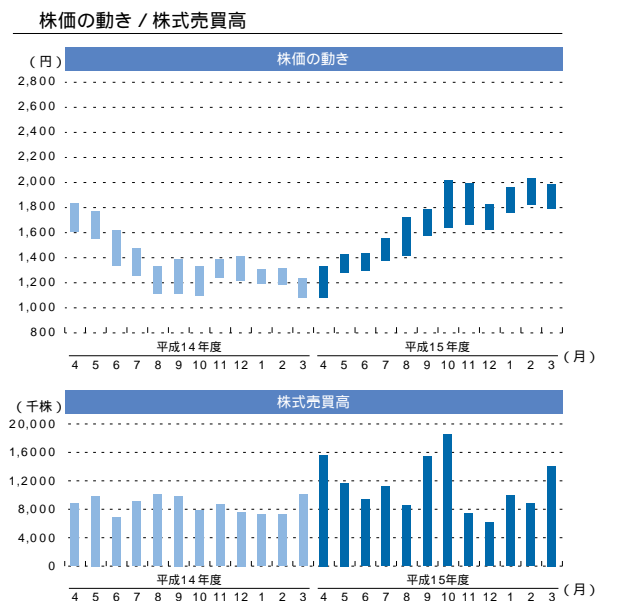
株式の状況

(平成16年3月31日現在)

発行済株式総数 / 139,628,721株

株主数 / 12,270名

大株主の状況			
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,838千株	株式会社東京三菱銀行	3,490千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,109千株	牛尾治朗	3,201千株
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	4,728千株	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな信託銀行再信託分・株式会社りそな銀行退職給付信託口)	3,200千株
朝日生命保険相互会社	4,454千株	オーエム04 エスエスピー クライアント オムニバス	3,041千株
ニッセイ同和損害保険株式会社	3,941千株	財団法人ウシオ育英文化財団	2,400千株
株式会社りそな銀行	3,596千株	指定単受託者 三井アセット信託銀行株式会社 1口	2,299千株
株式会社UFJ銀行	3,582千株	UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	2,104千株



会社概要

(平成16年6月29日現在)

設立 / 昭和39年3月

資本金 / 19,556,326,316円

役員			
代表取締役会長	牛尾 治朗	常勤監査役(社外)	三村 隆久
代表取締役社長	田中 昭洋	常勤監査役	四分一 直
代表取締役	菅田 史朗	常勤監査役	垣見 勝紀
取締役	後藤 学	監査役(社外)	関口 伸二
取締役	志手 總一	監査役(社外)	服部 秀一
取締役	多木 正		
取締役	大島 誠司		
取締役(非常勤)	牛尾 志朗		

事業所一覧	販売機構
本社 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日東海ビル TEL.03(3242)1811(代表) FAX.03(3245)0589	東京営業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日東海ビル TEL.03(3242)5610(代表) FAX.03(3242)2700
製造・研究開発機構 播磨事業所 〒671-0224 兵庫県姫路市別所町佐土1194 TEL.0792(52)4381(代表) FAX.0792(53)6262	システムカンパニー営業部 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘5-14-6 はづきビル TEL.045(901)2570(代表) FAX.045(901)0883
横浜事業所 〒225-0004 横浜市青葉区元石川町6409 TEL.045(901)2571(代表) FAX.045(901)1004	大阪支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-13-9 新大阪MTビル1号館 TEL.06(6306)5711(代表) FAX.06(6306)5718
御殿場事業所 〒412-0038 静岡県御殿場市駒門1-90 TEL.0550(87)3000(代表) FAX.0550(87)3200	

従業員数 (平成16年3月31日現在)	
ウシオ電機本体	約1,430名
国内グループ計	約530名
海外グループ計	約2,160名
合計	約4,120名

(パート等を含む)

社会の一員として 私たちの行動指針

10

ウシオは、グローバルスタンダード

を基本とする新時代にふさわしい

『企業理念』を1991年に策定し、

更にその精神を社員一人ひとりに

具体的に浸透させるための『行動

指針』を1997年に制定しました。

企業は限りなく社会的な存在

であるとするウシオは、社会や

環境との共生・共存をなによりも

大切にし、社会や環境と調和のと

れた事業活動に努めています。

1 私たちは、多様な個性と価値観を受け入れ、
共働する会社を目指し、自己研鑽と自己改革に努めます

2 私たちは、革新的で、挑戦的で、スピーディーな経営に取り組み、
会社としての持続的な発展に努めます

3 私たちは、すべての人々の基本的人権を尊重し、
明るく安全快適な職場環境を作ります

4 私たちは、良質で安全な製品・サービスを適正な価格で提供し、
公正・公平な取引を行ないます

5 私たちは、社会から理解と
信頼を得られるように努めます

6 私たちは、法令を遵守し、社会的良識に従って、
公正な企業活動を行ないます

7 私たちは、会社の定める規則や基準に従い、
誠実に職務を遂行いたします

8 私たちは、環境保全と
資源の有効活用に取り組みます

9 私たちは、積極的な広報活動を行なうとともに、
第三者の情報の価値や権利を尊重します

10 私たちは、国際社会の一員として、
それぞれの地域の発展に貢献します

株主メモ	
決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
	その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。
利益配当金受領	3月31日
株主確定日	なお、中間配当制度は採用しておりません。
公告掲載紙	日本経済新聞
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. (03) 3323-7111 (大代表)
お知らせ	当社は、日本経済新聞に掲載しておりました決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を、次のホームページアドレスに掲載いたしております。 http://www.ushio.co.jp/kessan/ 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

「光」でできること、「光」だからできること

高精度化、超微細化、低温処理化がどんどん進む技術革新の真ただ中で、光がこれらのボトルネックを解決する新しい有効な手段として、さまざまな分野で重要な役割を担い始めています。これからの光創造企業集団・ウシオに、どうぞご期待ください。

インターネットでUSHIOのホームページをご覧ください。

<http://www.ushio.co.jp>

発行:ウシオ電機株式会社 社長室広報部
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日東海ビル
TEL(03) 3242-1815 FAX(03) 3242-0695

